

こんなカン違いや思い込みしてませんか……

認知症になると感情も プライドもなくなってしまう



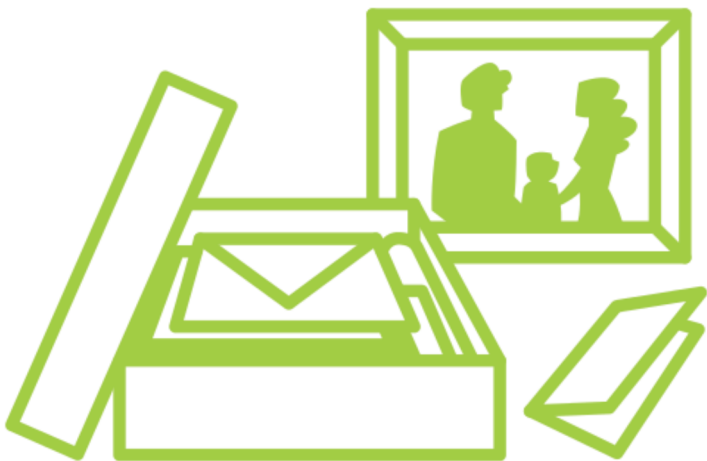
Q

認知症は、大事なことを忘れてしまったり、いろいろなことができなくなったりと、失っていくものばかりというイメージがあります。人として大切な感情もなくなっていくのでしょうか？

認知症の方の介護において暴力や暴言、拒否などは辛いものです。しかし、こうした例では、介護者の都合が優先されていることが多々あります。たとえば、認知症の方が外出したいと思いつたとき、玄関に鍵がかけられていて、「外には出ないで！」などと言われれば、誰だって不愉快な気持ちや怒りがわきおこり、プライドが傷つけられます。そうした感情が、暴力や暴言へとエスカレートしていくのです。

●●●困っているのはご本人も同じ

認知症のAさんは妻と二人暮らしをされています。自分の思いを言葉にするのが難しいAさんですが、喜怒哀楽は表情や態度で現れます。このAさんが暴力的になり、妻が困っているということでも、ケアマネジャーが訪ねてみました。すると、Aさんはトイレでズボンを脱ぐのに手間取り、尿で濡らすことがたびたびあり、それに妻は



我慢できず、「何やっているの!」「また汚して!」と叱責していました。そこで、「排泄が上手くできずに困っているのはAさんも同じ」「自分でやろうとする意欲を大切に」「手出し、口出しをせずに本人のペースで」「着脱が簡単なズボンに変えてみては?」といったことを提案しました。すると、妻は「夫の気持ちやプライドに気づいていませんでした。これからは、肩の力を抜いてゆったりと見守っていきます」と話しました。その数日後には、暴力的なこともなくなったそうです。

●●●むしろ感情は豊かに

認知症になると忘れることや失敗することが増えていきます。しかし、人として当たり前にもっている「自分らしく生きたい」という思いや、「人の役に立ちたい」といったプライドは失うわけではありません。表現力や適切に行動する力が低下しているだけなのです。むしろ感情は豊かになるともいわれています。認知症になったからと特別扱いをしないで、今までどおりに「時には頼り」「時には褒めて」「時には甘えて」生活を共にしていきましょう。新たなよい関係を築いていける可能性があります。